

2021年12月

**2021年度
四万十町地域イノベーター養成講座
第5回 ビジュアルレポート**

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

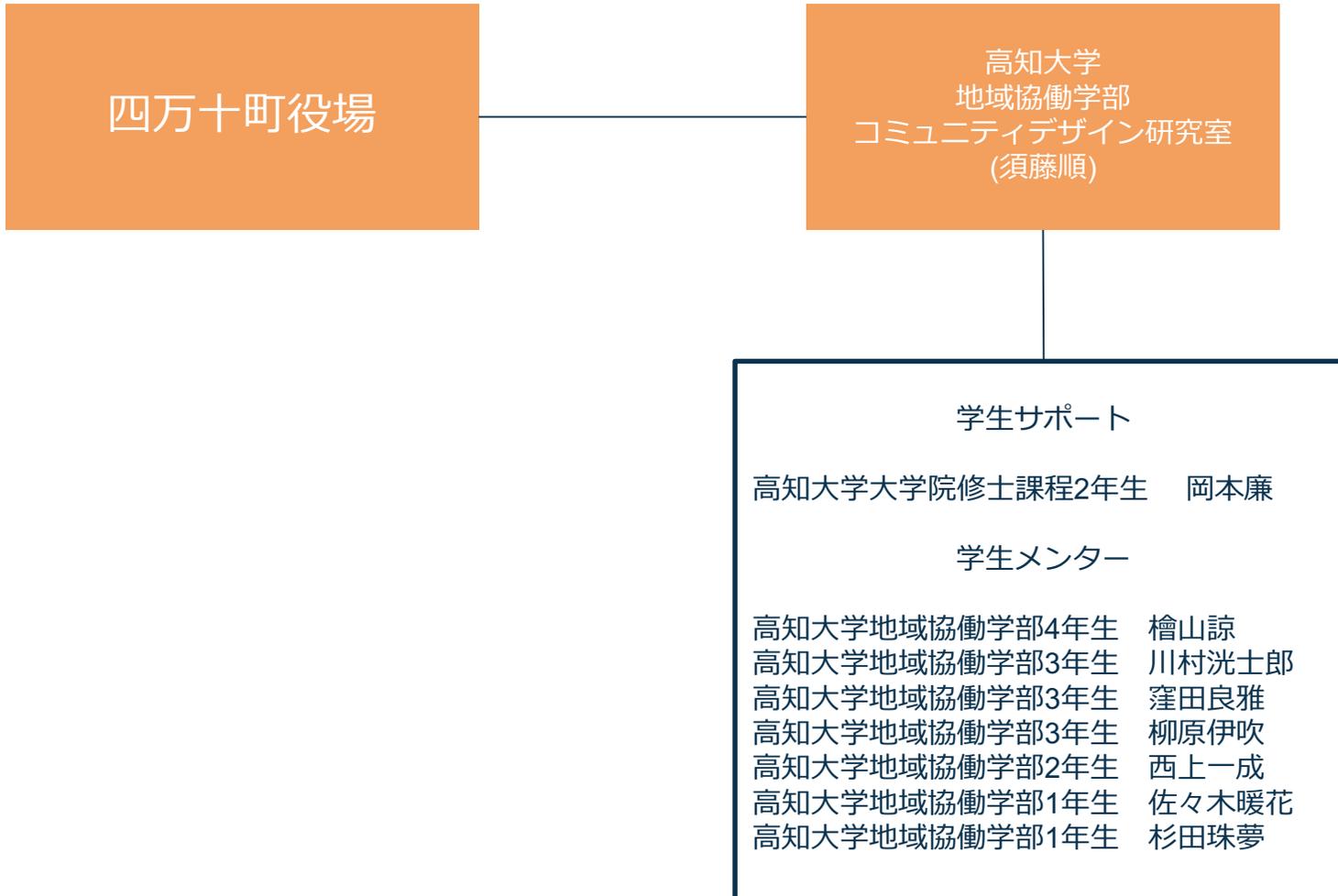
実施概要

- 日時：令和3年12月4日（土） 13時00分～17時30分
- 会場：四万十町十和地域振興局2階 ホール
- 主催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
13:00-13:20	チェックイン	• 今の気持ちを話す
13:20-14:20	LSPワーク	• レゴ®シリアスプレイ®を活用した関係形成ワーク
14:20-17:15	プロアクションカフェ	• 対話を通してプロジェクトやアイデアを発展させていくワーク
17:15-17:30	チェックアウト	• 次回までのスケジュール・課題確認

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

進め方（概略）



本当の自分を語り合う

自分のこれまでの人生を振り返りながら、好きなものや関心があること、疑問に思っていること、やってみたいことを語り合う。

アクションしてみる

自分と紐づいたプロジェクトを小さくやってみる。先輩を訪ねたり、調べてみたり、誰かに話してみたり、自分ができることに取り組んでみる。

振り返る

アクションしてみて気づいたこと、感じたこと、思ったことを仲間やメンターと対話をしながら振り返り、自分の本当の気持ちに向き合う。

2つのシートを使って対話とアクションを繰り返していきます！

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (~小学校)	人生グラフ: 横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう!	
(~中学・高校)		
(~専門・大学)		
(~現在)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
今		

マイプロジェクトの源泉へ

← me編シート

- ・自分のライフストーリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

PROJECT編

わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!

■実践したいプロジェクトの概要

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験

■「誰」にどんな価値を生み出しますか?

本講座のゴール

idea



- 1** **自分が情熱を傾けられるモノ・コトを自分の経験の中から見つけ出す**
- 2** **「アクションしながら学びを得る」ことを意識し、徹底して、行動と対話を繰り返す**
- 3** **自分らしいと思えるプロジェクトを描き、自然体で向き合える仲間づくりを行う**

場のルール

Growth

Vision

Resea

Business

Success

Marketing

Sup

Cro

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

チェックイン

今回のチェックインでは「今の気持ち」について参加者1人ひとりが話した。「今日は人数が少ないので寂しい」といった声や「毎回チェックインは緊張するが、今日は少人数なので落ち着いて話すことができる」といった声がみられた。今回は少人数での開催ではあったものの、これまでと同様に前向きに講座に取り組もうとする姿が見られた。今回で講座は5回目を迎え、話す内容を工夫するなど慣れた様子でチェックインを行う姿も見られ、笑い声も聞こえる和気あいあいとした雰囲気の中で講座をスタートさせることができた。



講座について説明する須藤氏



アクションについて話す受講生



チェックインの様子 ①



チェックインの様子②



受講生の様子



話を聞く受講生

レゴ®シリアスプレイ®ワーク

レゴ®シリアスプレイ®ワークでは、提示されるテーマにしたがって作品を作成していった。1つ目のテーマは「これまでの人生を振り返り、自分が最も影響を受けた出来事」について作品を作成した。影響を受けた出来事を思い出すのに、苦戦している様子も見られたが、慣れた様子でブロックを組み立てていく人も多かった。2つ目のテーマは「本当の自分だと思える瞬間」であった。抽象的なテーマに苦戦している様子も見られたが、自分の好きなことや自分自身が輝くことができたエピソードをもとに、目を輝かせながら一生懸命に作品を説明する姿も見られた。



作品を作成する様子



自分の作品を説明している学生メンター



作品を作成する様子



自分の作品を説明する受講生



グループで共有する様子



話に耳を傾ける受講生

プロアクションカフェ

プロジェクトを前進させたい人(コーラー)と支援する人(サポーター)に分かれ、対話を行なった。第1ラウンドでは「そのプロジェクトの深いところにあるやりたいこと」についてコーラーが話し、それに対しサポーターが質問や気づきを伝えた。話し合いの時間が終わると、コーラーとサポーターで分かれ、各自リフレクションを行なった。第2、第3ラウンドも同じような形式で行われ、第2回では「プロジェクトを進めるにあたって足りないもの」、第3回では「今からできるファーストアクション」について対話を行なった。コーラーは自分の思いを話すと同時に、サポーターからの言葉でプロジェクトや自分の本質について向き合う機会となった。一方でサポーターも、コーラーに言葉をかけることで自分のプロジェクトについても気づきを得ている様子であった。



模造紙にメモを取るサポーター



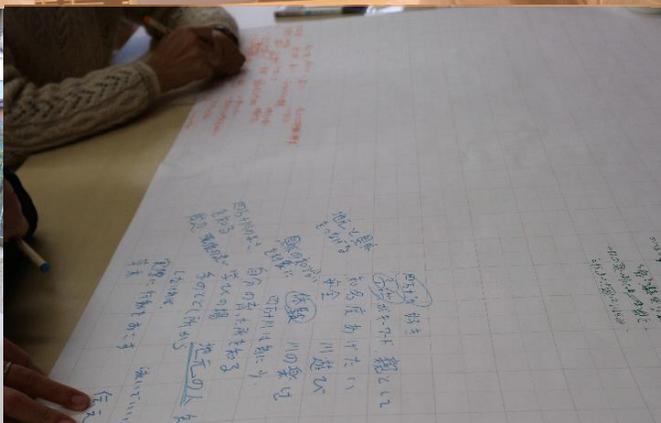
プロジェクトについて話すコーラー



メモをとりながら対話する様子



対話の様子

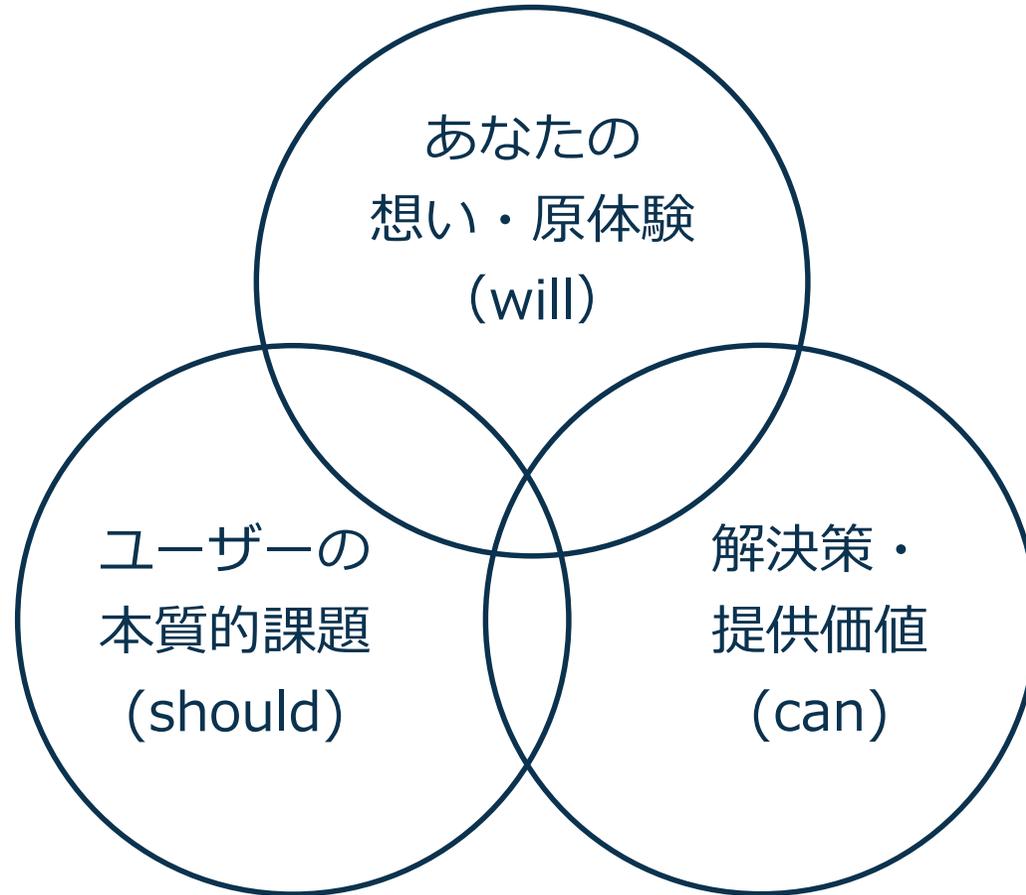


対話のメモ

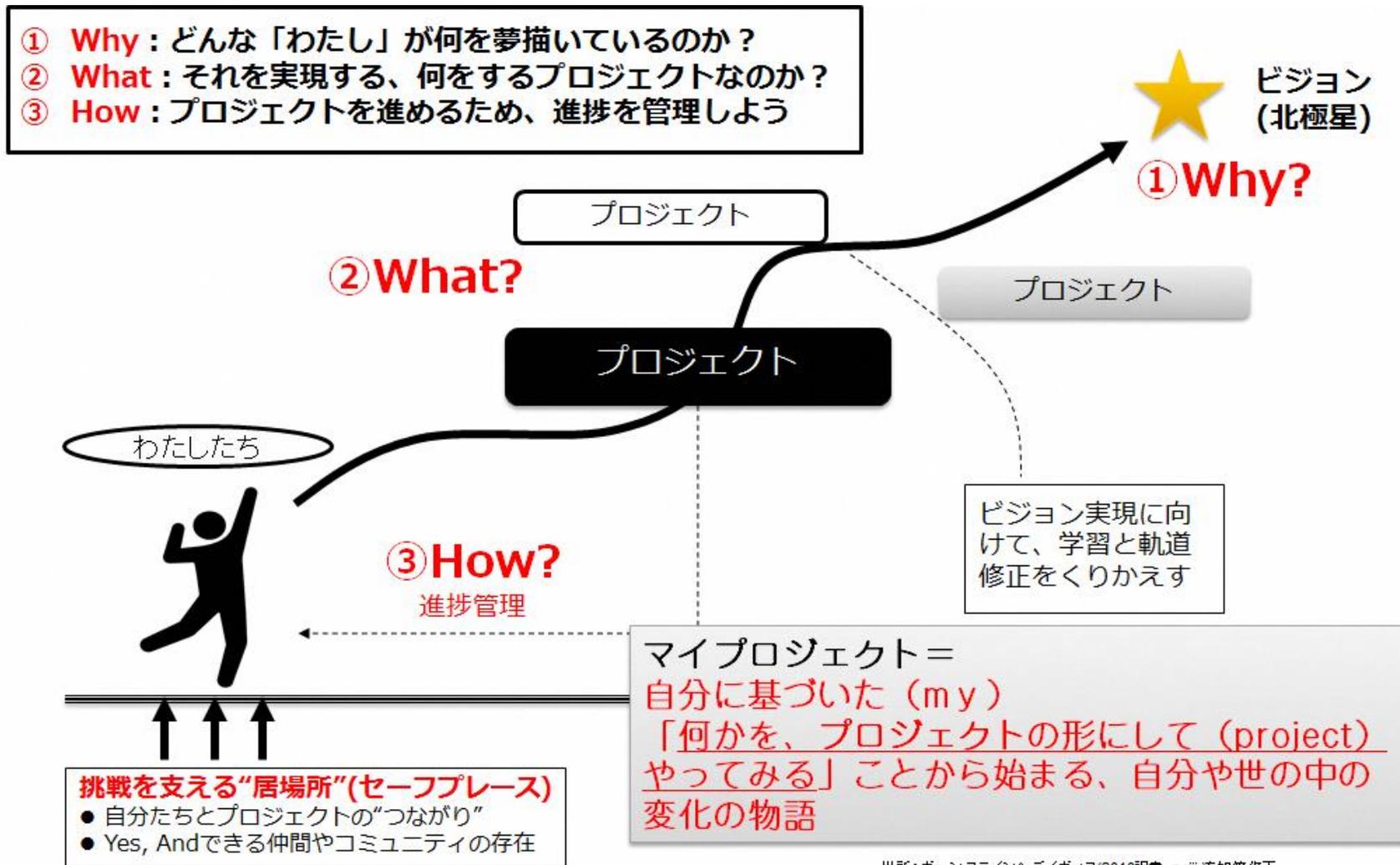


個人でリフレクションを行う様子

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



ポイント：プロジェクトを通じて自分の行先を見つける



出所：ボーンSTEIN&テイヴィス(2010)訳書, p.104 追加筆修正
 ※ 井上英之作成

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。